

サービスラーニングの中で学んだこと

社会福祉学部社会福祉学科 2年 林 翼
活動先：NPO 法人 学童保育ざりがにクラブ
クラス：村上 徹也 先生

1. サービスラーニングを通しての自分の成長と気づき

私が、最初にサービスラーニングを選んだきっかけは、サービスラーニングの説明の時に、地域の活動で、やりがいがあるというところに興味を持ち、将来のことを考えるために参考になる活動ができると感じたからである。それまで、自分が本当にやりたいということが明確に決まっていなくて、どこのゼミに入ろうか迷っていた。ゼミが決定してから最初に NPO 法人を訪れるバスツアーに参加し、初めて NPO 法人がどのような場所で、どのような活動を行っているのか実際に見て、知ることができた。自分の所属するゼミが決まり、活動先を決めるということで、高齢者や障害者、児童など、様々な活動先がある中で、自分の中で、一番興味があった児童の施設で活動することになり、本格的にサービスラーニングが始まったのだと実感した。

活動先の事前訪問では、指導員の方から、施設の説明を丁寧にしていただき、児童と初顔合わせなどを行ったため、活動初日の緊張はあまりなかった。しかし、自己紹介の時や、初めて児童と会話をした時は、どのような会話をしていけばいいのか分からなくなるほど、緊張してしまった。児童と関わるのは初めてではなく、会話もスムーズにできると感じていたが、児童の数が思っていたよりも多く、圧倒されてしまい、思ったようにうまく話すことができなかった。児童の方は、自分に怖がる様子もなく、積極的に話しかけてくれたため、次第に不安はなくなり、緊張も薄れていった。このことから、児童にはとても興味があり関心が強く、純粋な姿勢があり、初めて会う人にも積極的にコミュニケーションをとるのだと気付いた。児童は、純粋な姿勢や態度でいるということ、忘れかけていた私自身に教えてくれたのではないかと思った。

活動先として NPO 法人ざりがにクラブにお世話になるということで、場所も把握しておく必要があったので、どのような地域でどのような場所にあるのか、調べたところ、住宅街の真ん中に施設があるということと、近くに学校や公園があるなど、特徴があるなど感じた。この施設の場所は、学校が終わった後に直接歩いてくることのできる距離だったため、児童にとっても来やすい場所で、親からみても安全で安心することのできるのだと思った。このように、施設の場所を再確認することによって、その地域の関わりなども見えてくるので、とても参考になるなど感じた。

活動が始まって最初は、「外で一緒に遊ぼう」と言ってきてくれる児童が多く、一緒に色んな遊びをしていく中で打ち解けていけたかなと思う。外では、男の子は主にボールを使った遊びをして、女の子は、なわとびや竹馬で遊ぶ子が多かった。反対に部屋の中で遊ぶ

子は、ゲームや漫画を中心に遊んでいたりでしていたので、どのように入っていけばいいのか分からなかったが、日が経つうちにみんなの話題に入っていく事ができた。他にもカードゲームなどで遊ぶ子が多く、私が子どもの時にあったカードゲームをしていたので、とても話題に入りやすかった印象があった。どの児童もとても個性があり、一緒に遊び、色々なコミュニケーションをしていく中で、自分が今までしたことがないコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。

6日間という短い期間の中で、児童同士の喧嘩やトラブルなどもあったが、学生同士で企画したレクリエーションとしてビンゴゲームを企画し、お菓子を景品として、楽しんでもらい、一緒にボードゲームなどをして児童たちと楽しく過ごすことができたかなと感じた。今回の活動では、計画的に準備していくことの大切さを改めて実感することができた。

2. 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

今回の活動で、地域との関わりを直接見ることはできなかったが、住宅街の真ん中に施設があるということで、地域住民との関わりはあるように感じられた。しかし、やはり地域との交流が見られなかったため、NPO 法人としてあまり知られていないのではないかなと感じてしまい、もう少し地域との触れ合い活動として、祭りやイベントに参加するなど、積極的に理解を深めていくという取り組みをする必要があると感じた。地域の方にもイベントに参加してもらい、NPO 法人について理解してもらうことによって、地域活動としてのざりがにクラブが深い関わりを持つことができるのだと思う。そして、地域の方々と助け合い、支え合っていくというきっかけになればいいと考えた。これは、今の社会で交流の場が少なくなっているという現状に似ていて、やはり地域とのつながりを深めていくということの大切さを改めて感じた。

3. 最後に

今回、サービスマンニングとして、活動先で児童たちと6日間過ごしたが、施設の周りで、職員の方と鬼ごっこやサッカーなどで、元気に楽しく遊んでいる児童たちを見てみると、私自身も児童たちから元気をもらうような感じがして、この施設的环境はとてもいいのではないかと思う。この施設の職員の方たちも、児童のことについて、とても大切に思っている様子だったので、施設全体の雰囲気がとても明るく感じられた。私も今回の活動から、児童たちと触れ合い、様々な視点から物事を取り入れていくということや、視野を広げることによって、気付くこともあるということを知ることができた。この活動は、自分にとっても、とてもいい経験となり、この経験を将来生かしていきたいと感じた。